

【めむろ未来ミーティング日程 12】

令和二年 1月 16 日 (木)

13:30～14:57

西土狩地域福祉館

■参加者 6人

■芽室町 副町長、総務課長、農林課長補佐、建設都市整備課長補佐

■記録 池田

■対応・検討が必要な事項

- ①くりりんセンター道路の件（建設都市整備課）
- ②スクールバスの周知等の件（学校教育課）
- ③ペットのマイクロチップ化の件（住民生活課）
- ④ごみの分別などの件（住民生活課）

- 1 開会
- 2 副町長挨拶
- 3 質問事項の回答
- 4 意見交換

【意見】

車両センターも東工業団地に移すとのことだが、場所はどこか。去年の回答で説明のあった100ヘクタールの所にということ？

【副町長】

その場所はまだ決まっていない。線路から南1線と2線の合線まで拡大したいという線引きは町としていたが、ご存知の通り、農地転用が動いていないためにそこから前に進んでいない状況。

車両センターは100ヘクタールも必要ないので、あのエリアのどこかに作りたいという意味である。

【意見】

南保育園の所の宅地造成については？借り上げに関しても説明いただきたい。

【副町長】

借り上げ住宅に関しては、現在公営住宅を700戸以上町で管理しているが、ある程度縮小したいという思いもあり、駅から半径1キロの、ちょうど国道までの円の中に、今後8年くらいの間で90戸ほど借り上げ住宅に整備できないかと考えている。

余談にはなるが、今後借り上げ住宅を整備したいと言っても、まとまった土地を持っている地主がいるかどうか、空き家が増えてきてるのでそれを放置しておいても良いのかという問題はある。加えて、現在マンションを持っている人に関しても、空き部屋が多かったりもするので、逆にそうした所に入っていたら家賃補助を出すという考え方もあり、いくつかの手法を混ぜ合わせながらやっていく手法も考えられるので整理して考えていきたい。

【意見】

ピウカ親水公園の計画について。前回の台風でギリギリの所まで水が来たという話を聞いたが、そのままのカサで建設を進めるのか？

【建設都市整備課長補佐】

ピウカ親水公園自体の方は、町で公園整備として現在着手しようとしているが、同時に、今仰ったように、ピウカ川の災害の絡みもあったために、北海道では河川の掘削をやる予定となっている。その工事と合わせた中で親水公園を整備していくという考えである。

【副町長】

この区間だけでなく、嵐山からずっと繋がっていて途中から明渠になって川になっている。その辺りも含めて、北海道開発局帯広開発建設部と合わせて、上方の河川改修も同時に整理してやっていきたいと思っている。

【意見】

関連しての質問。親水公園という名前になつてゐるが、この資料の茶色の点線の部分が今説明のあつた道の方の予定地域なのか？それの中に公園も出来てくるということ？

【建設都市整備課長補佐】

北海道は川の中の土砂撤去や護岸の工事は行う予定。現在町が検討しているのは、護岸を張った上の所に遊歩道を敷く、堤防の部分に舗装をする予定。また、近辺に小さな子どもがお住いの団地もあるということで、遊具を置いた公園も複合した形での整備を行っていきたい。

先程副町長が説明した通り、嵐山の方まで川が続いているので、そちらの方も合わせて北海道が今後工事を進めていく流れとなっている。

【意見】

既存にある堤防幅と同じ面積？あのような形で？

【建設都市整備課長補佐】

その予定。ただ、災害のことを受けて28年度以降の考え方もあり、堤防の上に舗装をしていった方が粘り強い堤防になるという話もあるので、その辺りは北海道の考えと合わせた中で、町の方でどこまでやるかという協議を進めて一緒にしていく。

【副町長】

ピウカについては、基本的に堤防は今の規模と変えないというのが北海道の考え方。ただ、十勝川でも堤防の上に舗装を打っているが、あれで効果があるという話があって、それも含めてピウカの堤防の上に舗装を張りたいという考えを進めている。イメージとしては、豊平川の小さいバージョンのようなものに出来ればと考えている。

具体的には、堤防の上を歩いて、河川敷を降りて、また上がって、という形に出来ればと。その途中にあずまやであつたり、遊べるような場所を置くことも想像している。

【意見】

道道の北4線の13号の交差点の話。

街灯がついておらず、交差点ということもあり結構事故が多発しているのでつけて欲しい。
以前に要望したのだがその回答も来ていない。

【建設都市整備課長補佐】

くりりんの所をまっすぐ下がってきて道道と、帯広新得線と合流する所のお話だと思うが、その辺りのお話はすでに北海道の方にもお伝えしている。回答がないとのことなので、聞いたお話を直接お伝えした上で、再度確認させていただく。

【意見】

数日前に、13号から西側まで1時間ちょっと停電があつたが、あの原因は何か。

【副町長】

北電から正式な詳しい内容までは聞いていないが、ほくでんの機械類の故障トラブルとのこと。

【意見】

道路の話に関連して。くりりんセンターの所が、片側1車線になっており、とても危ない。

整備員はついてはいるが、自社の車しか対応していないので、一般車両が危険。何とか対策を取っていただきなければ困る①。

【副町長】

了解した。くりりんの話なので、搬入車の交通整理は当然だが、それに伴う一般車両の交通安全についてもきちんと対応してくれということを私の立場からも申し入れさせていただく。

【意見】

道路の関係。農村道路で私たちの住んでいる北6線とかの辺りは、町営バスや子供たちのバスの通路にもなっているが、施工してかなり年月が経っているので、路肩がかなり弱っている。バスや除雪車が走る時に、路盤をめくって、アスファルトが畑に入ったり、砂利層がめくれて穴が開いたりということ

がかなりある。そういうことで、役場の除雪基準がある所はきちんと見直しをできないものか。

【建設都市整備課長補佐】

まずは道路の整備についての説明。現在、道路マスターPLANというのを町で作っている。昭和40年代の高度経済成長期から、道路や橋を一気に作ったため、その老朽化が丁度来てしまっている状況。そこで、新しく策定した道路マスターPLANの中では、地域の核となる道路や、他の市街地に出るような幹線道路、そして生活道路にある程度優先順位をつけて、順番に整備をしておこうという計画となっている。この計画は、新しく舗装をどんどんしていくというのではなく、既存の施設の使い方をどうしていくかというのが趣旨となっている。ここ10年間程進めてきた舗装のやり方だとコストがかなりかかる上に、工事の延長も進捗しないということで基準の見直しを行ったながら、各道路の使い道に合ったような道路形態で整備していくと考えている。

今仰った北6線の道路については、私たちも除雪の際にも夏の間もパトロールをしているし、悪い所は穴埋めをする等部分的な補修はさせていただいているが、スクールバス路線であることも踏まえた中で、春先にまた現場を見させていただき、全部一気にということは厳しいが、また部分的に舗装を入れてならすというようなことで対応したい。

【意見】

スクールバスについて。小中学生でない我々大人が利用しても問題ないのか？免許返納後の交通手段などのことがあるので。

【副町長】

利用して問題ない。時間帯や便自体は変えられないが、一般の方々も自由にご利用いただける。路線によって、満員の所は乗りづらいかも知れないが、大体は余裕があるので、高齢者の方も含めて乗って頂くことができる。

また、免許返納後の足の問題については、特に農

村部の方々の希望として「好きな時間に・自宅前で乗って・自宅前で降りる」というものがあるので、実験的にタクシー助成のモニター試験を2月に実施しようと思っている。

【意見】

芽室のタクシーは台数が少ないと思うが、この制度を実施するのにその問題に関してはどう考えている？

【副町長】

それに関しても、帯広の会社とも協議しており、ニーズが増えていけば帯広から芽室への配車の割合を増やすことも考えることであった。

【意見】

先程も言われた通り、一般の方々のスクールバスの利用などが今後必要となってくると私も感じる。

しかし、農村部への周知があまりされていない。例えば、どこから乗れば良いのか分からぬという方もいるのではないか②。特に冬場だと運転はかなり危険なので、そうしたバスやタクシーが利用しやすい環境になればありがたい。

【副町長】

スクールバスの運行の件は教育委員会であり、伝えておく。確かに、子どもさんの居ないご家庭など、バス停が何処にあるのか分からないという方もいらっしゃると思うので、地域の皆さんにもそういった情報が伝わるようにしていきたい。

【意見】

スクールバスは祝祭日も運行しているか？

【副町長】

していない。基本的に学校のある日しか動いていない。夏休み・冬休みに関しても、朝晩の定期便はないはず。

【意見】

他の地区の人からペットのマイクロチップの義務化が進んでいるみたいとの話を聞いた。

町では犬の放し飼いはあまり見ないが、猫の放し飼いや餌やりが見受けられる。野放し状態だと糞害などがすごいので、何か町として取り締まるような対策はないか③。

何となく、勝手に処分するというのも気が引ける。

【副町長】

犬は狂犬病予防のこともあり、畜犬登録の制度があるが、猫の場合はそれがない。

課題ではあるが、現状かなりハードルとしては難しい。今後について担当課に確認したい。

【意見】

せめて、すまいる等でも（猫の放し飼いの件など）啓蒙していただければと思う。

【副町長】

理解した。

【意見】

ごみ出しに関する意見。資源ごみの袋について。燃えるごみの袋・燃えないごみの袋は縛りやすいが、他の袋については縛るのが難しい。

ごみ出しの規定にはきちんと口を縛ることあるが、高齢者や障がい者などは特に縛ることが困難ではないのか。テープ等で止めてはいけないのか④。

【副町長】

実は、今日午前中にも他地域でそうした話は出た。芽室は現在分別を細かくやっていて、帯広の方からは「こんなにやらなくてはならないのか」といったような声もある。

町としても、今の芽室町の分別のやり方が100パーセント合っているとは思わず、見直す時期に来ているとも感じている。やはり、これから高齢の方も増えて、分別やごみ出しが困難という方も多くなってくるので、新しいくりりんの受け入れ態勢も含めて、見直しを検討していこうと思っている。

【意見】

出す所はくりりんセンターなので、そこで統一していないのか？

帯広は燃えるごみと燃えないごみなので、芽室町もそれで良いのではないかと思う。何故こんなに細かく分けるのか疑問である④

【副町長】

最初の計画策定時は芽室町の理念で現在の形になったが、本当に続けるべきか疑問はある。逆に分別することがストレスになってしまうということもあると思う。

いずれにせよ今の分類は見直したい。その際に、先程言われた袋の形についても含めて検討する。現状、もし縛れない場合にどうやって出せばよいかということに関しては、広報誌でお知らせしたいと思う。ガムテープで留めれば良いという場合もあるかも知れないし、そこも確認した上で周知する。

【意見】

関連して。やはり農村部というのは人目につかない所があるためか、空き缶やオムツを捨てていく人がとても多く、その都度片づけるのが大変。そうした時に、縦のライン・横のラインでも通報できる所があればもっと速やかに片付くのではないか。

【副町長】

確かに、タイヤやテレビなどをドカッと投げられるとある意味分かりやすいが、空き缶などのポイ捨てが多いというのも確かに困ると思う。周知したい。

【意見】

農林関係での意見。アライグマ等の害獣が多発している。去年も今も、目撃情報があって（わなの）設置はしていただいているのだが、やはり動物も学習能力があるのか、同じような所に同じような物を置いているため、多くが捕まらずに終わってしまうらしい。その対策を考えていただきたい。

また、害獣のシカを撃ってくださいと言っても、

昨今の規制など色々あるせいか、中々動いてくれないので、難しいと思うが、何とか改善願いたい。

【農林課長補佐】

仰る通り、有害鳥獣、特にアライグマ辺りの被害が拡大している傾向にある。

アライグマは非常に頭の良い動物で、現在主に出没や捕獲情報が出ているのが、上美生地域や河北全域。特に酪農家の所などはよく飼料などを食べられると耳にする。

現在、外来生物の関係で、免許を取らなくても講習を受ければ箱わなを仕掛けることが出来るようになっているので、昨年からうちでも講習を受けていただいた方が15人程おり、その方達に箱わなを使って自衛していただくということをやっている。わなは、既存のものは10個しかなく、来年度から計画的に増やしていく予定。

アライグマは特に甘いものを好むということで、わなを作るに辺りどういった餌が一番効果的か試行錯誤している所である。

また、たぬきの目撃情報も増えており、それが実際の所アライグマである可能性もあるので、たぬきとアライグマの見分け方に関しても皆さんにわかりやすいよう周知していく。

いずれにしても、アライグマについては、狩猟免許が無くとも2~3時間の講習を受ければわなを自宅前に置いていただくことができる。

【意見】

(アライグマは)夜に出る動物であるはずなのに、最近では昼にまで目撃することがあって、大胆になってきているのを感じる。

また、シカは5~6頭の群れで来られたりして、本当に被害がひどい状況なので何とかならないか。

【農林課長補佐】

有害鳥獣の生息区域が拡大しているというのは聞いているが、伏古方面はほとんど被害情報が無く、やはり上美生や河北という地域に集中している印象は受ける。

芽室町は農業振興計画の策定の議論をしている中でも、当然有害鳥獣のことも課題にあがっていて、部会というものを作つて、その中でやはりシカの対策は絶対に必要という話も出たので、今後議論を重ねた上で対策の方向性を出していく形になると思う。

【意見】

段々増えているハクチョウに被害を受けているのだが、あれらは害鳥に含まれるか？

【副町長】

ハクチョウは含まれない。

【意見】

タンチョウは？

【副町長】

タンチョウは保護鳥。

【意見】

ではハクチョウは撃てないのか。有害指定を町ではできないのか？

【副町長】

サギは養殖のニジマスを食べてしまうということで有害鳥獣に指定されていたが、ハクチョウは撃てない。有害鳥獣指定は町独自ではできない。

【意見】

公立芽室病院に関して。去年の産婦人科の休止といい、収支決算を見ても、ここ数年ずっと悪い状況が続いており、明るい未来がないように感じる。我々の総合病院ということもあり、今後も守っていかなくてはならないと思うが、町としてはどういった方向性を考えているか。

【副町長】

昨年は色々ご迷惑をおかけした。町としては、公立芽室病院を無くすということは考えていない。ただ、医師の研修制度改革改正に伴う医師確保の難しさ

と経営上の問題が大きく、今の診療科目・体制で同じことをずっと続けていくことは厳しい。これから町民の人口がどうなっていくか、また、西帯に同じ診療科があった場合患者の奪い合いになってしまふということも踏まえて、今後の診療科目やベッド数のことを検討していきたいと思っている。床数については、元々 150 というベッドがあつて、現在は 100 となっている。

一方で、これから 20 年・30 年くらいは町の高齢者は増え続けると予測されており、そうなった時に行き場が無くて困っている人をどうするかが課題となる。条件や入所期間といった様々な制約により、特養にも老健施設にも入れない人がどこに行くか、となつた時にどうするのか。他町村との連携も含めて検討している。

【意見】

町長の弔辞について、音更などではやっていないが、制度としてはどうなっているのか。

【副町長】

弔辞を必要とするかしないか選択する形。現在では 10 人亡くなつたら、弔辞を読むのが 3 人程度で、年々少なくなつてきている。

【意見】

嵐山の計画について、町の人たちにとって、どういった立ち位置になるのか。ただの牧場の近隣施設なのか、観光施設なのか。

【副町長】

基本的には、スキー場、宿舎、今は休止しているがキャンプ場。その 3 つの機能は残したい。ただ、今そのまま残していても、町民の認識というのは変わらないと思うので、町民の皆さんのがいきたくなるような新しいものを付け加える必要があるだろうということで、現在リニューアルのプランを考えている。

全て役場がやる訳ではなく、やりたいことのある人や企業に手を挙げてもらうような形で、民間と連携して行っていきたい。4 月以降、本格的に募集を

かけて色々やっていただくという動きになっていく。

【意見】

茅室町に外国人労働者が来た場合はどうなるのか。どこに住むのか。その辺りの仕組みがよく分かっていないので説明してほしい。

【副町長】

現在、ある程度居住している。東工業団地の企業で雇用しているし、上美生の酪農家の方にも入っている。こうした酪農家の場合は、自分たちで家を用意している。

現状、町ではこうした短期間で来た人や工場の場合季節雇用で来た方の住む場所がないということが大きな課題となっている。そういう人に町として住む場所を用意しようということから、一部試験場の官舎を購入した。形式としては、働く人ではなく、その雇用主が町と契約してそこに住むことをイメージを持っている。



14:57 終了